

年	組	番
名		
前		

フェナキストスコープは、アニメーションの原型の一つで「驚き盤」とも言います。少しずつ絵を変化させた円盤の裏のスリットから、鏡にうつした絵を回転させながら見ると、連続して動いているかのように見えます。

1.絵コンテを描きましょう

フェナキストスコープは、通常 12～16 コマで作ります。

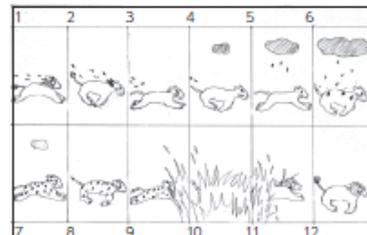
今回は 12 コマのアニメーションをつくってみましょう。

下描きは絵の始めと終わりが連続するように考えてつくりましょう。

はじめに 1, 4, 7, 10 コマ目の絵を考えてから、残りのコマをつくと動きをつくりやすくなります。

参考例

(テーマ「ライオンとひょう」)

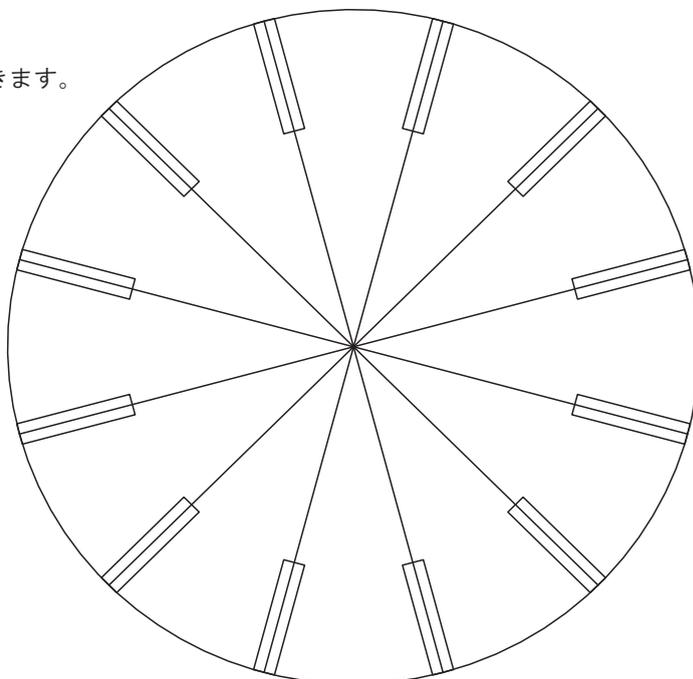


テーマ 「 _____ 」

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12

2.円盤に絵を描きましょう

- ① 絵コンテをもとに下描きをします。絵は時計回りに描きます。
- ② 裏面を黒いボール紙にのりで貼り付けます。もしくはこのシートをボール紙にプリントし、下描きして裏面を黒くぬります。
- ③ 絵に色をぬります。
- ④ かわいたら、円盤とスリットを切りぬきます。
- ⑤ 中心点を画びょうで割りばしにとめます。
- ⑥ 絵を鏡に映して裏面のスリットからのぞきます。



※ 画用紙などに、つくりやすい大きさにコピーしてお使いください。